



全国保育協議会

平成11年6月8日第三種郵便物承認 令和4年10月1日発行 (毎月1回1日発行) 354号

https://www.zenhokyo.gr.jp

# ぜんほきょう

NURSERY

2022  
**10**  
OCTOBER  
No.354



## 特集 加速する少子化と“保育”の役割～“保育”は何に貢献できるのか～ … 02

保育システム研究所 代表 吉田 正幸

### 保育ネットワーク

米子市淀江どんぐりこども園 (鳥取県米子市)

地域の魅力に触れ、ふるさとを愛する心を育てる …………… 08

災害への備え～命を守る避難計画・避難訓練～ (第7回) … 10

●施設の災害対応7つのポイント

保育の質の向上に向けた取り組み  
～自己評価ガイドラインの活用～ (第7回) …………… 11

●保育の記録の意義、活用方法

国の動き …………… 12

ぜんほきょうの動き …………… 13

公立保育所・公立認定こども園の動き  
西田中保育園 (奈良県大和郡山市) …………… 14

●～みんなちがってみんないい～ 主体性を育む保育をめざして

「食」を通して子どもの育ちを考える (第7回) …………… 16

●0歳児からはじまる食育 ～おなかとこころの満足～



## 地域子育て家庭支援事例

## 不登校・引きこもりの状態にある子どもへの支援

不登校・引きこもりの状態にある子どもは社会との接点とともに専門職とのかかわりも薄くなっている場合があり、状況が見えづらくなっていることが懸念されます。また、その状態にある子どもをきょうだいケアするケースもあり、ヤングケアラーのニーズが隠れている場合もあります。さらに、不登校・引きこもりの状態にある子どもは、自己肯定感や自己有用感が低下していることが想定されます。これらを高めるような支援としては、児童福祉施設等の資源の活用による居場所の提供が一例として考えられます。

## 【園児との交流を通じた不登校生への支援】

愛知県豊橋市「幼保連携型認定こども園 明照保育園」の取り組み

取り組みについて：保育園として平成15年に児童クラブを開設したのと同時に、不登校生支援の一環として児童クラブ内にフリースクール部門を始めた。

かかわった専門職：保育士、臨床心理士、小中学校の教員

取り組みを始めた経緯としては、卒園児のなかで小学校や中学校で不登校気味になっている子どもがおり、「何かできることはないのか」と模索していたことからでした。フリースクールの活動内容としては、子どもたちが引きこもらないように、園で遊ぶ機会や行事に参加できる機会を作ったり、保護者と学校の話し合いの懸け橋になったりしています。始めて分かったことは、不登校生と園児たちの相性の良さでした。当初は、卒園児中心で

したが、直近5年ほどは、市の教育支援センターや中学校で教室に入れない子ども（別室登校生）とも、定期的に園児と遊んだりする機会を作ることができました。なかには、家庭環境が複雑な子ども、不登校の子ども、発達障害を抱えている子どももいますが、こうした子どもたちに必要なのは、社会の役に立っているという自覚だと考えています。同年代の子どもたちといると臆してしまう生徒も、園児たちにとっては、何でも出来るスーパーお兄ちゃんやお姉ちゃんです。おどおどしていたり、緊張している生徒たちに「君はそのままでも大丈夫だよ」「一人じゃないんだよ、君には良いところが沢山あるんだよ」と気付いて欲しいのです。

慣れてくると、汗をかきながら園児たちの誘いに一生懸命応じている姿があります。毎回帰る時の何ともいえない笑顔はとてかわいいものでした。園児たちとかかわることで自己肯定感が向上し、登校が出来るようになった子どももいます。なかには、その後、保育士をめざして本園の職員になった子もいます。「学校には行きたくないけど、児童クラブには行きたい」と言っていた子どもは、高校の夏休みに児童クラブのアルバイトに来ています。交流が行われる日には、園に定期的に来ている臨床心理士にも可能な限り同席してもらい、専門的なアドバイスももらっています。本園のような取り組みが、他の保育施設や幼稚園にも広がることを願っています。



すべての子ども・子育て家庭が安心して生活できる地域をめざして  
～児童福祉施設等の専門性を活かした妊娠期からの切れ目のない支援～  
(2022, 全国社会福祉協議会) より一部抜粋・一部加工